

三郷スカイライン整備



▶三郷スカイラインからの眺望。富士山や安曇野を西から一望できるスポット。

山岳観光は、アルプスを背景にしている安曇野だからこそできる取り組みだといえます。主要な登山道が複数あり、周辺には天然温泉を有する宿泊施設があるなど、その条件にも恵まれています。三郷スカイライン・展望台を整備することで、滞在型山岳観光を推進します。また、周辺地域は「リンゴ」を中心としたグリーン・ツーリズムにも取り組んでいる地域です。将来的には幹線道路などのインフラ整備を計画し、南部エリアからの交流人口の拡大にも取り組んでいく計画です。

【グリーン・ツーリズム】

農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動。

都市再生整備計画「安曇野水辺の里地区」



▶平成27年7月にオープン予定の「安曇野しやくなげの湯」。周辺も安曇野の自然環境に配慮した整備を計画します。



▶連続テレビ小説「おひさま」のロケ地にもなった自然体験交流センターせせらぎ。散策路を整備する予定です。



▶穂高駅前の整備を行うことで、安曇野市観光の玄関口として活性化を図ります。



▶万水川、蓼川、欠の川に囲まれた自然豊かな場所「三角島」。遊歩道や橋などを整備する予定です。

観光にかかわる整備計画

施設やエリアの整備はどうなる!?

市では、観光拠点となる施設やエリアの整備を計画的に進めます。今後予定されている主な整備事業を紹介します。

「安曇野暮らしツーリズム」の実現のためには、市民の皆さんをはじめ、観光関係団体の皆さんなど、さまざまな立場からの取り組みが不可欠となります。そのような中、市では部局間の連携を図りながら、必要な財政措置を講じ、観光振興の拠点となる施設やエリアを計画的に整備します。

具体的には、どのエリア?

整備は大きな二つのエリアに分けて、計画しています。

一つは市の北部に位置し、安曇野の豊富な水資源を有する地域です。この地域は都市再生整備計画による「安曇野水辺の里地区」として整備が計画されています。もう一つは、市の南部に位置する地域で、北部に集中している観光の動線を、より長く滞在できる仕組みにするために整備を計画しています。

「安曇野水辺の里」拠点整備

安曇野暮らしは、北アルプスの恵みである「水」によって作られ、支えられています。上図の地区は来訪者が多い地域であり、自然環境がより身近に感じることができるよう拠点整備を目指します。

具体的には、水を感じる空間の拠点として、三角島、自然体験交流センターせせらぎ、安曇野の里、万水川の各周辺の整備。来訪者の回遊性を高める基盤整備として穂高駅前周辺。西山山麓の観光拠点として、平成27年にオープン予定のしやくなげの湯周辺の整備を計画しています。

南部エリアの拠点整備

また、市の南部に位置するエリアは、三郷スカイラインに富士山が見える展望台の新設、登山道の整備を予定しています。

この整備は、大滝山登山道から、蝶が岳や徳本峠に向かう登山道を含めた基盤を整備するものです。この整備を皮切りに、南部エリアの魅力を発信し、周遊型観光の促進を図ります。

整備のスケジュール

水辺の里の拠点整備は、平成26～30年にかけて実施する予定です。三郷スカイライン展望台は平成26～27年にかけて整備をします。

岡穂高総合支所内観光課

(TEL) 82・3131 (代) FAX 82・6622